

EU発展の方策考察

大野・上庄中 記事を基に発表

公開授業



NIE(教育に新聞を)
実践指定校の大野市上庄
中は13日、欧州連合(EU)
U)をテーマにした社会
科の公開授業を行った。
1年生23人は、離脱見直
しを求める声が強まる英
国など、新聞を通して各
国の現状を理解し、今後
のEUの発展に向けた方
法などを考えた。



新聞記事を通してEUの現状を学ぶ生徒。13日、大野市上庄中

生徒に主権者意識を持つ(教諭39)が担当した。てもらう狙い。齊藤永敏 生徒は、難民らの大量

流入などを背景に反移民勢力が欧州で発言力を増しているニュースや、ドイツのメルケル首相の政界引退表明によってEUの改革が滞る恐れが出ている記事などを読み込み、要約し発表した。

この後、今後のEUの発展のためにどのようにすればいいかを自分なりに考えた。「もっと各国が議論すべき」「ドイツは労働力不足。EU全体ではなく部分的に移民を受け入れ、発展する」といなど発表し合った。

川田航生さん(13)は「新聞は世界の今の状況が分かる。みんなと話して合って考えるのは楽しい」と感想。村中サキラさん(13)は「教科書に載っていないことを知ることができ、視野を広げられるのはい」と話していた。(藪内弘昌)